

# みえアカデミックセミナー 2024

## 鈴鹿工業高等専門学校

7/13  
土

三重と最先端技術のつながり  
- 人工衛星の低コスト化と長寿命化への貢献 -

講師 材料工学科 教授 黒田 大介 さん

気象衛星などの探査衛星はロケットで打ち上げて地球や太陽系を周回しており、宇宙空間での運用に至るまでに多くの予算が必要です。IoT 社会基盤の発展には人工衛星の小型・長寿命・低コスト化が重要です。本セミナーでは、人工衛星の役割、鈴鹿高専材料工学科で取り組んでいる人工衛星の耐久性評価についてご紹介します。

## 三重大学

7/17  
水

会社の政治献金と会社法  
- そもそも会社は政治献金をすることができるのか? -

講師 人文学部 法律経済学科 教授 名島 利喜 さん

「政治とカネ」をめぐる問題は、古くて新しい問題です。昭和45年に、最高裁は、会社が行う政治資金の寄付（政治献金）は許されるという判決を出しました。本セミナーでは、この最高裁判決を素材にして、そもそも会社は政治献金をすることができるのかという問題について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

## 四日市大学

7/18  
木

能登半島地震の経験から学ぶ  
三重の地域防災

講師 環境情報学部 環境情報学科 副学長 鬼頭 浩文 さん

2024年正月に発生した能登半島地震。半島の先にある輪島市や珠洲市の住民は、道路網も上下水道もズタズタになり、極限状態の数日間を過ごしました。本セミナーでは、行政・社協などと連携して実施している輪島市でのさまざまな災害支援ボランティアや現地視察の経験から、三重の地域防災について考えます。

## 三重県立看護大学

7/20  
土

子どもの我慢は成長とともに

講師 学長 片田 範子 さん

子どもが成長することは、我慢することの学びと達成した時の喜びとの「うらおもて」のような経験からなっています。子どもの成長は未知との遭遇の連続なのだと思いますが、経験を積んでいく中で、人との関係性、自分の行動の制御などを使っていくことを学びます。大人の社会では、子どもたちが、我慢していることに気づかずに、やり過ぎてしまうこともあります。また、「我慢しなさい」としつけの一部として押し付けてしまう大人優先の社会でもあります。しいて言えば全部が普通のことではありますが、我慢と自己コントロールと自己主張することが子どもの自律性を育み成長へとつながるのかを考えてみたいと思います。

## 高田短期大学

7/23  
火

イマドキ子育て

- 子育ての常識をアップデートしませんか -

前半：「子育ての新常識」について  
後半：「母子健康手帳の昔と今」について

講師 子ども学科 教授 長倉 里加 さん  
子ども学科 准教授 榎原 尉津子 さん

少子高齢化、女性の社会進出が進む中、祖父母世代や地域の高齢者が子育ての担い手として期待されています。しかし、子育てに関する認識の違いから祖父母世代と子育て世代の間には高い壁があるとも言われています。そこで本講座では前半と後半に分け、子育て世代が一番の『壁=ギャップ』と感じている「子育ての新常識」と「母子健康手帳の昔と今」について紹介いたします。

## 鈴鹿大学短期大学部

7/24  
水

体罰イメージの変遷

- 西洋の教育思想に焦点をあてて -

講師 短期大学部 助教 井上 剛男 さん

現在、教育現場で子どもに体罰をふるうことは許されないが、どうしてそういう認識が広く社会で当然視されるようになったのか。中世、近世、近代における西洋の教育思想から、体罰の捉え方の変遷とその背景について解説する。

## 鈴鹿大学

7/27  
土

多民族国家マレーシアからみた日本

講師 国際地域学部 助教 竹野 富之 さん

東南アジアにおいて経済発展著しいマレーシア。同国は主にマレー系、華人系、インド系、それ以外の少数民族からなる多民族国家だ。1957年の独立以降、マレーシアは多民族社会ゆえの様々な軋轢を乗り越え、今日の繁栄を築いている。そんなマレーシアの視点から多文化共生を目指す日本社会の今後を考えてみたい。



知のひろがり

それは希望への一歩

会場 三重県総合文化センター内  
三重県文化会館 1階 レセプションルーム

開始 13:30 ~ ※終了時間は各セミナーにより異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

## 近畿大学工業高等専門学校

8/2  
金

気付く方言、気付かない方言

講師 総合システム工学科 (国語) 講師 山本 空 さん

「あなた」「あんた」「おまえ」…。おそらく、これらの言葉を「聞いたこともない」という人は多いのではないのでしょうか。方言というと「その地方以外では使われない言葉」という印象があるかもしれませんが、よく聞く言葉を「どう使うか」にも地域差があります。今回はそのような言葉についてお話ができればと思います。

## 皇學館大学

8/6  
火

日本の美意識 - 見てはいけないという物語 -

講師 文学部神道学科 教授 橋本 雅之 さん

「鶴の恩返し」という名で知られている物語は、本当の姿を見られた鶴が恥ずかしく思って飛び去って行きます。切なく哀れなこの物語は、今も私たちの心を捉えています。なぜ私たちはこの物語に心惹かれるのでしょうか。今回のセミナーでは、悲しく去っていく鶴を美しく感じる日本の美意識についてお話したいと思います。

## 三重短期大学

8/8  
木

ちょうないさいきんそう  
腸内細菌叢とは何か

講師 食物栄養学科 助教 福安 智哉 さん

腸内細菌叢とはヒトの腸内に生息している細菌群で、ヒトの健康に関与していることが認識されてきた。最近ではこの腸内細菌叢に注目した「腸活」という言葉も生まれ、注目度は高くなってきた。しかしながら、この腸内細菌叢が何をしているのかわからない人が多い。そこで今回は腸内細菌叢の基礎的な知識について述べていく。

## 放送大学三重学習センター

8/9  
金

美術における日本的とは何か

講師 客員教員 藤田 伸也 さん

日本美術は古くから外来美術を取捨選択しつつ積極的に受け入れることで、多様に発達してきました。その結果、中国や朝鮮そして欧米とは異なった特質を持つ日本の美術が生まれています。長谷川等伯「松林図屏風」などの絵画名品を中国と比較し、日本的と感じるものは何かを美術史の視点から考えていきます。

受講無料 (事前申込制・先着順)

6月12日 (水) より受付開始



## 鈴鹿医療科学大学

8/21  
水

福祉と農業の連携で  
Win - Win の課題解決

講師 医療福祉学科 准教授 合田 盛人 さん

農福連携は、福祉の分野で障がい者の働く場所が無いなどの問題と農業分野で高齢化と人手不足や耕作放棄地の増加などの問題を、農業と福祉が連携することで相互の課題解決を図る取組です。本講座では、現在注目されている農福連携の概要、農福連携と地域共生社会と自然栽培、本学キャンパス農園の活動についてお話しします。

## ユマニテク短期大学

8/23  
金

子どもの育ちを応援しよう  
~ 乳幼児期に人と関わる力を育みましょう ~

講師 幼児保育学科 教授 山野 栄子 さん

近年、子どもが最も信頼したい親や保育者などによる虐待がニュースになっています。本来、子どもは生まれながらにして自ら育とうとする力を持っています。大人がその力を信じ、一人の人間として尊重して温かく見守り、子どもが安心して自己発揮できるよう乳幼児期に人と関わる力を育み、信頼関係を築けるよう応援しましょう。

## 鳥羽商船高等専門学校

8/24  
土

ROV でみえてくるもの  
(小型無人潜水艇)

講師 商船学科 教授 山田 智貴 さん

鳥羽商船では昨年から ROV を導入し、教育や研究、社会貢献などに活用する取り組みを開始している。このセミナーでは ROV に関する一般的な知見と鳥羽商船での導入の狙いについて解説するほか、建造中の新鳥羽丸に配備される ROV を交えた、複数の ROV を用いた実習や運用についての構想についても紹介する。

## 四日市看護医療大学

8/28  
水

怒り・イライラへの対処方法

講師 看護医療学部 看護学科 教授 後藤 由紀 さん

精神的に安心安全な環境づくりは組織にとっても個人にとっても大切です。職場や家庭をはじめとした生活の場で「イライラ」や「怒り」の感情に支配されないために、認知行動学的アプローチの一つであるアンガーマネジメントの手法について紹介します。